

## 16. モデル・プロジェクト‘Sustainable Mobility - Car-Free Tourism’（ウィーン）

トピック：車を用いない移動への政府・自治体をあげての取り組み

### 特徴

都市を車両の波から解放し、国際的な協力体制をも確立しながら、車以外の環境にやさしい交通手段を利用することを推奨する。

#### <プロジェクトの主体と目的>

「Sustainable Mobility - Car-Free Tourism」と題するこのプロジェクトは、オーストリアの3省庁、ザルツブルグ地方、そして二つのモデル都市(‘Bad Hofgastein’ と‘Werfenweng’)により運営され、さらに、EUからも支援を受けており、環境・旅行業・輸送の各分野に共通した将来的なプロジェクトである。

このプロジェクトでは、質の高い「車を用いない移動・旅行(car-free tourism)」を可能にする商品を開発すること、モデル都市へ移動する刷新的な交通の概念を実践に移すこと、内燃機関を搭載した車両を市の中心部から排除すること、刷新的な輸送手段の活用を促進すること、さらに環境の質をも高めることが目的とされている。

#### <‘Bad Hofgastein’ と‘Werfenweng’の2都市における実践例>

歩行者用道路、サイクリング道路の拡張

魅力的な道路デザインと駐車スペースの確保

レンタカー、カーシェアリング、ホテル、宅配などの特別の目的を有する場合には、内燃機関自動車にかわり電気自動車を用いる

自転車と電気自動車の共用

電気自動車のためのガソリンスタンドの開設（オーストリア初）

ローカル線と低公害な市バスの利用

魅力的な鉄道旅行に対する輸送・観光面での国際的な協力体制（Alpenexpress等）

国際的なアルプス輸送プロジェクトにおける、Bavaria, Lombardy, Trentino, South Tyrol, Beneto, Friuli-Gulia-Venetoなどの都市と国際友好関係の締結、また NETS (Network European Tourism for Sustainable Mobility) との協力関係も構築

・(仮訳)

・(出典)Synthesis Report of the OECD project on Environmentally Sustainable Transport EST presented on occasion of the International est! Conference 4th to 6th October 2000 in Vienna, Austria.